

**製品名:** ニューロピリン-1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMM81506

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	103.1kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Neuropilin-1
別名	NRP1; NP1; NRP; BDCA4; CD304; VEGF165R
遺伝子 ID	8829.0
SwissProt ID	O14786
免疫原	ヒトニューロピリン-1 の合成ペプチド (AA: 45-59)。

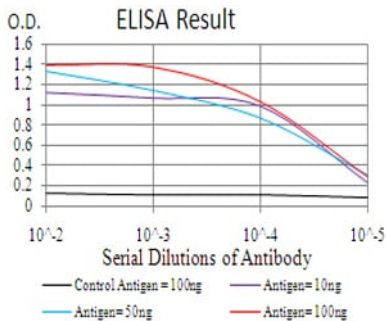
**背景**

この遺伝子は、細胞遊走を制御する様々なシグナル伝達経路に関与することを可能にする特定のタンパク質ドメインを含む 2 種類のニューロピリンのうちの 1 つをコードします。ニューロピリンは、補体結合ドメイン、凝固因子 V/VIII ドメイン、およびメブリンド

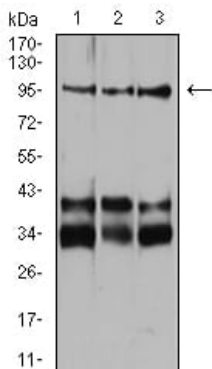
メインからなる大きな N 末端細胞外ドメインを含みます。これらのタンパク質はまた、短い膜貫通ドメインと小さな細胞質ドメインも含みます。ニューロピリンは多くのリガンドおよび様々な種類の共受容体に結合し、細胞の生存、遊走、および誘引に影響を与えます。ニューロピリンが結合するリガンドおよび共受容体には、血管内皮増殖因子 (VEGF) やセマフォリンファミリーのメンバーなどがあります。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。

## 研究分野

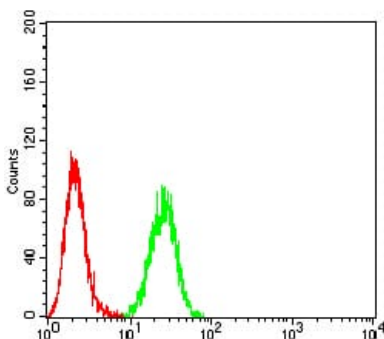
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Jurkat (1)、Hela (2)、および HUVEC (3) 細胞溶解物に対する Neuropilin-1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



Neuropilin-1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。